

室生中学校 新校舎創立 50 周年記念式典

10 月 27 日

「伝統を胸につなげ明日へ！はばたけ室生中！」の合い言葉のもと、50 周年記念式典を開催しました。記念式典に先立ち、記念碑の除幕式を執り行いました。

記念式典では、来賓のみなさんより中学校の 50 年を振り返り、その歩みや今後の展望についてお言葉をいただきました。また、この夏に実施されたタイムカプセル開封式の模様について、当時の生徒会長よりメッセージを受けると共に、現生徒会長より、これまでの伝統を引き継ぎ自分たちもタイムカプセルに自分への手紙を託し、20 年後に再会しようと呼びかけがありました。



「むろシカちゃん」



▲漫画家 森下裕美さんよりデザインいただいた、記念キャラクターを描いた記念碑（森井石材より寄贈）の除幕式

子どもたちの教育振興のために ご寄附いただきました



東京都在住の野田順弘さん（室生向湊出身）より、地域の子どものための教育振興や体育施設等の充実に役立てていただければと、500 万円のご寄附をいただきました。

ご厚志に感謝し、ご寄附いただきました一部は、室生中学校創立 50 周年記念事業（記念誌作成）に活用させていただきました。また、地域のこども園・小学校・中学校のため大切に活用させていただきます。

宇陀カエデの郷づくりが 総務大臣表彰受賞

地方自治法が施行されて 70 周年を迎え、記念式典が行われました。その式典において、地域の共同活動に熱心に取り組み、行政に積極的に参画している団体として、「カエデの郷ひらら」を運営する（特非）宇陀カエデの郷づくりが総務大臣表彰を受賞されました。

同団体は、廃校となった木造校舎を管理・運営しながら、特産品やカエデの苗木の販売や都市住民との交流を積極的に実施し、地域振興に貢献されています。



宇陀カエデの郷づくり
理事長 西田 勇さん



秋の叙勲おめでとうございます

瑞宝双光章
（警察功労）



小關 宗隆さん
（元大阪府警部）

小關さん（榛原天満台西）は、昭和 40 年から平成 18 年までの長きにわたり大阪府警で勤務されました。

主に、刑事・防犯・少年部門などでご活躍され、犯罪検挙や非行少年の更生活動、部下の指導育成等に顕著な功績があり、全国優良警察官表彰を受賞されました。

また、犯罪現場では捜査指揮を執り命がけで任務を遂行されました。

瑞宝双光章
（警察功労）



横東 修さん
（元奈良県警部）

横東さん（榛原あかね台）は、昭和 40 年から平成 19 年までの長きにわたり奈良県警で勤務されました。

主に、刑事部捜査第一課内の殺人・強盗などの凶悪犯罪を担当する強行班係で、被疑者の逮捕や取調べなど事件解決に向けての捜査活動にご尽力されました。

事件捜査だけでなく、被害者遺族や家族に寄り添い、家族の心のケアにもご尽力されました。

瑞宝単光章
（警察功労）



吉村 峰五郎さん
（元大阪府警部補）

吉村さん（大宇陀野依）は、昭和 39 年から平成 14 年までの長きにわたり大阪府警で勤務されました。

主に、パトカー警ら隊で勤務され、方面隊として各種犯罪の予防や犯人検挙に貢献されるなど、地域の安全と平穏を守るため日々ご尽力されました。

また、第一機動隊や留置管理業務にも従事されました。

図書館の職員さんに
聞いてみよう!

本のはなし

話題の
新刊本!



生きていくあなたへ
～105歳どうしても遺した
かった言葉～
日野原重明 著
出版：幻冬舎

私が言葉によって支えられてきたように、
迷い傷ついたあなたの心へ、私の言葉が届くことを願っています。105歳の医師、日野原重明が、死の直前まで語った、希望と感謝のメッセージ。生前に書き溜めていた言葉も収録する。(大宇陀図書館所蔵)



漫画君たちはどう生きるか
吉野源三郎 原作
羽賀翔一 漫画
出版：マガジンハウス

自分の生き方を決定できるのは、自分だけだ。人間としてあるべき姿を求め続ける、コペル君と叔父さん。「子どもたちに向けた哲学書であり、道徳の書」として読み継がれてきた歴史的名著を漫画化。(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの まとめ知識 Vol.46

新年あけましておめでとうございます。正月には、新しい着物を着て、新しい履物を履き、新年の挨拶をして、初詣に出かける。そんな何もかもが新しい一日が「新年」だったものです。こうした習慣もほとんどなくなってきましたが、書初めなどは今でも続いている行事でしょう。

江戸時代には読書も盛んで何と正月には読書始(どくしょはじめ/ふみはじめ・書始)という儀式まであったそうです。読書始とは、ある個人(特に貴人の子弟)が初めて学習を開始する時、もしくは毎年最初の学習開始の時に行われる儀式のことを言いますが、その年に初めて読書することも読書始と言ったようです。近世では「よみぞめ」と言い、男子には初学の読物ということで『大学』、女子は「めでた物語」の『御伽草子』が選ばれていたとか。

さて、私は今年何を読んでみようかしら♪

おはなし会やその他のお知らせは P26

英語スピーチコンテスト

11月9日

市役所において、第5回宇陀市英語スピーチコンテストを行いました。この取り組みは市内の各小中学校で行われている外国語活動や英語学習の成果の発表・交流をとおして、国際性豊かな児童・生徒を育成することを目的としているもので、今回は市内の小学生13名と市内外の中学生29名が参加し、個人の部と複数の部に分かれて日頃の学習の成果を発表しました。審査員からは発音の良さと、楽しみながら取り組んでいることについて講評があり、子どもたちの外国語活動や英語学習への意識がさらに高まることを期待します。



宇陀小・中学校音楽学習発表会

11月16日

文化会館かざろひホールにて、第48回宇陀小・中学校音楽学習発表会が開催されました。この発表会は、宇陀市・宇陀郡の小中学校の児童生徒が、音楽の面から交流ができる貴重な機会として開催されたもので、今年も全ての小中学校14校



の代表、計421名が集まり、これまで練習を重ねてきた演奏や合唱の成果を披露しました。

子どもたちは多くの観客の前で緊張しながらも、会場一体となって音楽を楽しむことができました。

民生児童委員が熱唱

11月7日

檀原文化会館において、奈良県民生委員児童委員大会が開催されました。民生委員制度創設100周年を迎え、記念大会では「支えあう 住みよい社会 地域から」のスローガンのもと県内で活動する民生児童委員が一堂に会しました。式典ではこれまでの100年を振り返り、原点や多くの先達の思いを再確認するとともに、委員活動の一層の充実、発展に向け、思いを新たにす機会となりました。

オープニングセレモニーでは、宇陀市の民生児童委員50名が「花咲く郷土(民生委員の歌)」を熱唱されました。

